

令和 7 年度 (株)インフォメーションネットワーク郡上八幡

放送番組審議会 報告書

■ 開催日時 令和 7 年 7 月 1 5 日(火) 10 時～12 時

■ 開催場所 郡上市産業プラザ 4 階会議室

■ 出席者 議長 上田 晋市 委員
旭 正司 委員 大西 春子 委員
川上 朝史 委員 鷺見 佐都子 委員

■ 報告事項 ・2024 年～2025 年(6 月末)の放送番組について
ニュース取材 2024 年 1 月～12 月 487 本
2025 年 1 月～6 月 195 本

学校行事・地域イベント・市役所関係等 毎月約 30 本取材
取材依頼が来る他 イベント告知のポスター等から情報収集
番組は小学校・中学校・高校の入学式や卒業式
運動会・体育祭・合唱祭等のイベントは例年通り撮影・放送
その他 講演会や各団体の発表会・公民館行事などを放送
「フレッシュ☆マイタウン」は「よろしく はちまん」に名称変更
3 年前から開始した「五十鈴のお部屋」という番組を放送中で
来月 8 月には第 12 回の放送を予定
番組表を新聞折込からテレビの電子番組表(EPG)と H P で掲載
紙の番組表は事務所に用意してある
昨年 5 月より S N S の運用を開始し Instagram にて
毎月の番組紹介や取材・工事などの情報を発信中

■ 番組審議委員からの意見・提言 と事務局からの回答

(上田議長) 審議員から意見や感想等を述べてください。

(大西委員)

・原付散歩の頃にどこを走っている映像か分からないので、テロップを入れてほしいと要望したところ、現在は入っているのでどこの映像か分かるので、知り合いなどに聞いても「分かりやすくなった」と喜んでいた。

・意見としては色々な地区で様々な活動をしているグループ(サロン等)があるので、そうした活動をしているグループを取材してあげてはどうか。

社協だけでも60程のグループが活動をしている。負担にならない程度で。

(上田議長)

・前の審議会において、新しい番組を制作することは大変だと聞いたので、年に1～2グループとかで紹介することは可能か

(三輪)

・時期によっては難しいが、できなくはない。

色々なグループや団体は紹介できたら良いと思う。

密着して時間をかけるのは難しいので、1回の取材で活動を紹介する程度なら。

(川上委員)

・劇団ともしびで練習風景を撮りに来てもらってありがとうございました。

先ほどのニュース映像でもあったが、コメントフォローのテロップが入ることでも耳が聞こえにくくても内容が分かるのでありがたい。

字幕がないと内容が分からなくなるので、手間がかかると思うが、今後も続けてほしい。

・歴史の番組や「ING 探検隊」などで歴史や由来など説明があると、地元の人でも知らないことがあるので、それが知れる機会として良いと思う。

(鷺見委員)

・今年子どもが成人式で、取材をしてもらい記念になったのでとても良かった。

子どもをインタビューしている後ろに保護者が映り込んでいて、子どもより目立っていたと言われたので、撮影する場合気にかけてもらえるとありがたい。

・子どもが居たときは見ていたが、子どもが居なくなるとテレビを見る機会が減ってしまった。ネットで見るとものがないと、家族がINGを見ているときもある。

〈課題〉 知り合いにも I N G に加入していない人がいる。
テレビ離れが増えている。

(旭委員)

- ・子どもはテレビを見なくなっていて、ネットで動画を見ている。
- 色々制作する中で、人に見られるものを作る必要がある。
- ・神楽の番組を放送することで、地区長会の中で「神楽を復活させないか」という意見が出た。I N G が神楽などの地域イベントを放送することで影響を受けている。
- ・昔一緒に「あゆ釣り体験記」という番組を作ったが、釣り人などにフォーカスを当ててインタビューなどをすることは可能か。現在釣り人の中には漁協に対して意見のある人もいる。I N G の意見ではなく、釣り人の意見として放送したい。

(細江代表取締役)

- ・コミュニティチャンネルは地域の良いところにスポットを当てて発展させていくというツールという性質上、対立意見が発生するようなものを放送するのは難しい。

(上田議長)

- ・加入者がお金を払って受けられるサービスということで、加入者に等しくあるべきではある。現在のどちらかに偏らないスタンスは守らなくてはいけない。
- ・旭さんが言うような、問題提言となるものを放送する場合、平等に両方の意見を発信できるとなった場合は放送が可能なのかどうか。
- ・社長が言うように良い出来事のみを発信するとした場合、難しいかもしれないが、見ている人は報道としてのテレビではないかという意見が出るのも分かる。

(細江代表取締役)

- ・ケーブルテレビというものは狭いエリアでコミュニティチャンネルの放送をする。その場合、問題等を取り上げるとエリア内で対立が発生する可能性があるので、そうした放送はするべきではない、というスタンス。
 - ・他局で事件事故を取り扱っているところもあるが、かつては良かったが、現在は評判が下がっている。25年くらい前ならそうした放送をしても良かったかもしれない。
- かつては今みたいに誰でも発信できるような状況ではなかったの。

(旭委員)

- ・気軽に「どうですか?」「楽しいですか?」「釣れますか?」程度なら可能か?

(和泉)

・釣り人にインタビューをすることは可能だが、どうやって放送するのか。

ただインタビューしたものを放送するのは難しい。

どうやって流すのかを決めなければ、撮影に行くのは難しい。

例) 釣りの楽しさを発信する。という名目があり、釣りを楽しんでいる人にインタビューを行うということは可能だと思う。

(上田議長)

・釣りを楽しいものとして広めていくとか、釣りについて広く知ってもらいたいという思いでテレビに出すということになるのではないか。

(上田委員)

・「五十鈴のお部屋」など I N G 独自の番組があるのはとても良いと思う。

・八幡らしい番組やニュースなどが積み重なっていることが良いので、八幡町の情報が発信できている現状を続けてほしい。

〈課題〉

・テレビからスマホなどネットに媒体が変わってきている

・郡上を出ていった人の方が、八幡の情報を欲しがっているので、有料でも良いから発信させることは可能か。

(細江代表取締役)

・現在検討中。システムとしては現在できる時代ではある。

・I N G が放送の許諾しか受けていないので、ネット等での配信をする場合手続きが必要となる。生産性を考えながら、検討を進めていきたい。

(二村)・A I による自動音声等はどうか。

(旭委員)・人が話している方が良い。

(上田委員)・昔より違和感は無くなっていて受け入れやすくなっている。

(その他)・スカパーの「I N G お得パック」は安くて良いと聞いた。

岐阜県郡上市八幡町島谷1 4 5 9 - 1

(株)インフォメーションネットワーク郡上八幡

TEL. 0575-65-6288 FAX. 055-65-4899